



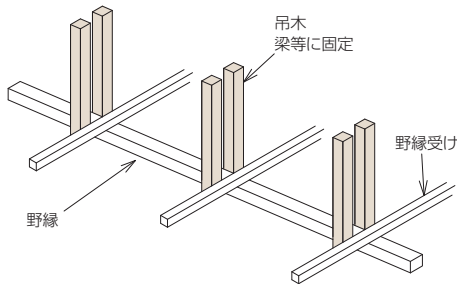
## URM型/URB型

### 1.天井に面付けする場合(URM型を使用)

天井裏の野縁へ付属のネジで取付けます。天井板(石膏ボード等)のみへのネジ止めは強度が出ず危険なので絶対にしないでください。

- 建築時にあらかじめ設計に組み込む場合は、物干を取付ける箇所を吊木等で十分に補強してください。
- すでに仕上がっている天井の場合は、吊木のある場所に取付けてください。

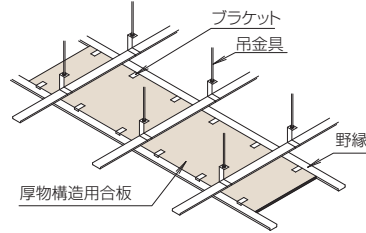
【野縁補強の例】



### ■ 下地づくりのヒント

野縁(もしくは軽木材)の間に合板(24mm以上)を取付けて下地を作ると、次のようなメリットがあります。

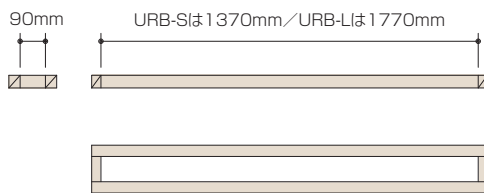
- ・ 負荷が広い面に分散されるため強度的に有利です。
- ・ ネジが野縁から外れたり、野縁を割ったりするトラブルが減ります。
- ・ 野縁の位置に左右されず、取付け位置を微妙に調整できます。



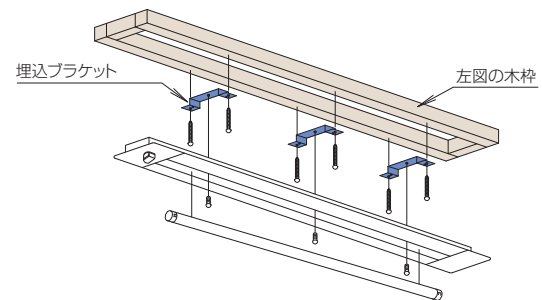
### 2.天井に埋め込む場合(URB型を使用)

製品を埋め込む天井開口部の回りに木枠を組み、回りの野縁等にしっかりと固定してください。木枠に対して製品に付属の「埋込ブラケット」を取付けた後に、本体をネジ止めします。

【木枠の寸法】

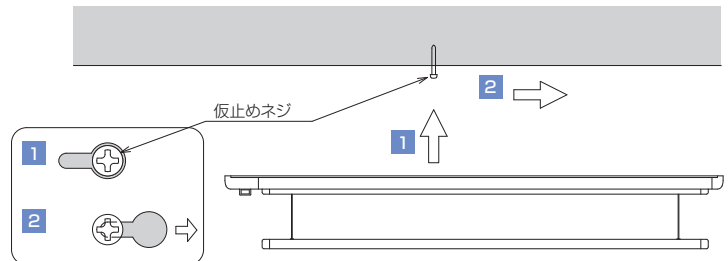


注：木枠を作成する材木は、ネジの充分効く厚み(30mm以上)であること、割れに配慮したサイズであることをご確認ください。



### 3.一人でも取付け作業可能

製品サイズは大きいですが、仮止めが可能なので下地が出来ていれば一人でも施工可能です。付属のネジを1本天井に打ち、それに本体のダルマ穴を引っ掛けて仮止めします。その後すべてのネジを確実に固定します。(埋込タイプも同様です)



### 4.傾斜天井には非対応

傾斜天井ではお使い頂けません。必ず水平な場所に設置してください。

### 5.設置場所について

- 室内専用です。屋外や浴室内ではご使用頂けません。
- 万が一落下した場合に危険な場所には設置しないでください。(ベビーベッドの近くや暖房器具・湯沸かし器の近く等)